

# TDB 景気動向調査(全国・概要)

2006年11月調査

2006年12月6日

お問い合わせ先：株式会社帝国データバンク 産業調査部

電話：03-5775-3163 e-mail：keiki@mail.tdb.co.jp

http://www.tdb.co.jp/

景気動向調査専用HP http://www.tdb-di.com/

## 景気DIは45.6、3カ月連続の悪化で今年最低水準

～ 個人消費の低迷や業績伸び悩み懸念の増幅で悪化幅も拡大 ～

(調査対象2万152社、有効回答企業1万3社、回答率49.6%)

2006年11月の景気動向指数(景気DI:0~100、50ポイントが判断の分かれ目)は45.6となり、前月比0.7ポイント減と3カ月連続して悪化した。前月まで小幅にとどまっていた悪化幅も拡大し、2006年6月と7月(ともに46.0)を下回って今年最低水準を更新、国内経済がここへきて弱含んでいることが裏付けられた。

### 前月(10月)までの概況

- 原油価格と金利の上昇懸念の高まりに伴う企業・家計心理の悪化などにより、2006年3月(47.9)をピークに下落基調へ転じる
- 7月以降は原油価格が下落基調となったものの、日米の景気減速を示唆する指標が散見されるようになり、一進一退の局面となる

### 11月の概況

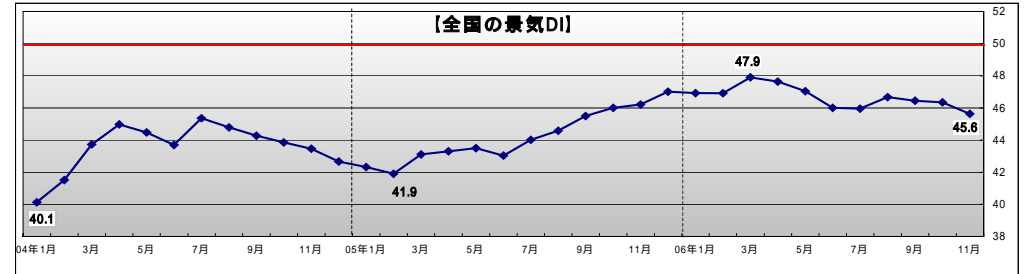
- 平年より高い気温が続いたことにより消費が盛り上がりなかったうえ、内閣府が発表した2006年7~9月期の実質GDP(速報値)で個人消費の回復遅れが鮮明となったことで、「金融」や「建設」、「小売」、「サービス」など内需関連業界を中心に景況感が後退

政府は11月の月例経済報告で、個人消費の低迷を受けて景気の基調判断を1年11カ月ぶりに下方修正

- 設備投資はGDPではプラスを維持したものの、設備投資意欲DI(49.0)は判断の分かれ目となる50ポイントを割って推移。また、企業業績も上場企業の決算見通しで下半期の伸び悩みが鮮明となり、売り上げDIでもその傾向を示唆  
これまで国内経済を下支えしてきた設備投資と企業業績に息切れ感が台頭

景気DIは堅調な上場企業の業績や設備投資によって下支えされてきたが、業績のさらなる拡大への期待が後退し、個人消費の脆弱さが改めて浮き彫りになったことなどから、一進一退の踊り場局面から弱含みの局面へと移りつつある。

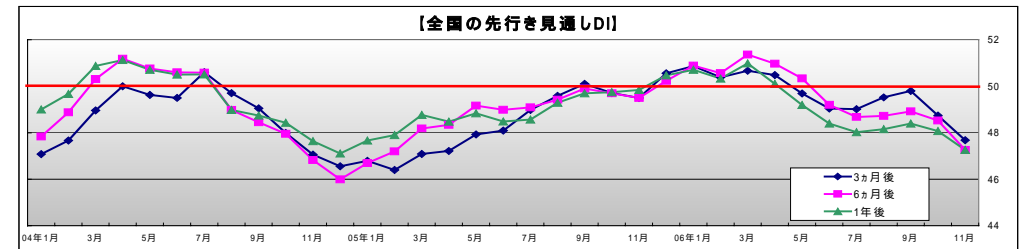
今回の景気回復局面は11月で「いざなぎ景気」を超えて戦後最長となったと言われているが、大企業と中小企業、大都市圏と地方圏で景況感に大きな格差が生じている現状では、その実感が少ない企業は多い。



景気DI

(網掛けなしは前月比改善、イエローの網掛けは前月比横ばい、ブルーの網掛けは前月比悪化を示す)

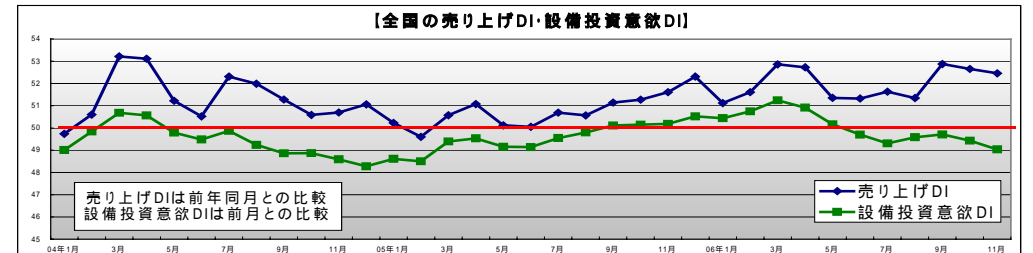
	05年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	06年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	前月比
全体	43.1	43.3	43.5	43.0	44.0	44.6	45.5	46.0	46.2	47.0	46.9	46.9	47.9	47.6	47.0	46.0	46.0	46.7	46.5	46.3	45.6	0.7



先行き見通しDI

(網掛けなしは前月比改善、イエローの網掛けは前月比横ばい、ブルーの網掛けは前月比悪化を示す)

	05年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	06年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	前月比
3カ月後	47.1	47.2	47.9	48.1	49.0	49.6	50.1	49.7	49.5	50.6	50.9	50.4	50.7	50.5	49.7	49.0	49.0	49.5	49.8	48.7	47.7	1.0
6カ月後	48.2	48.3	49.2	49.0	49.1	49.4	49.9	49.7	49.5	50.2	50.9	50.6	51.4	51.0	50.3	49.2	48.7	48.7	48.9	48.5	47.3	1.2
1年後	48.8	48.5	48.8	48.5	48.6	49.3	49.7	49.7	49.8	50.5	50.7	50.3	51.0	50.1	49.2	48.4	48.0	48.2	48.4	48.1	47.3	0.8



調査開始は2002年5月

## 今後の見通し

先行き見通しDIは「3カ月後」、「6カ月後」、「1年後」ともに2カ月連続して悪化、先行き不透明感は一層増幅している。

- 脆弱な個人消費や、企業業績、設備投資の伸び悩み懸念が先行きへの期待を萎縮させているうえ、米経済や原油価格、金利上昇などのリスクも払拭されず
- 中小企業の収益悪化が顕在化しつつあり、景況感格差がさらに拡大する可能性は否定できず
- 2007年の景気見通しについて尋ねた結果、4割が「踊り場」局面を予想（特別企画参照）

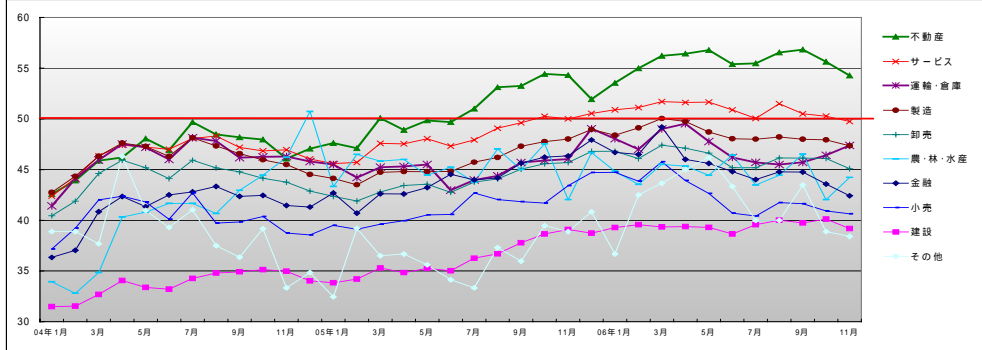
国内経済は潜在成長率並みの成長が続いており、世界経済が拡大基調をたどるなかで長期的には成長が持続すると言われている。

しかし、実質賃金が下落するなか個人消費に力強さが戻る兆候はなく、今年の暖冬予想も消費にマイナスとなる可能性が高い。また、米経済の行方や原油価格動向、金利上昇などのリスクもくすぶっている。さらに中小企業や地方圏の景況感の回復遅れが顕著で、規模間、業界間、地域間での格差が一層拡大することが見込まれている状況では、短期的には調整局面が続くのは避けられない。景気DIはしばらく一進一退の展開が続くと思われる。

## 業界別：前月比改善は10業界中2業界のみ、「建設」は再び40ポイント割れ

- 『運輸・倉庫』（47.4）...ガソリン価格の値下がりにより引き続きコスト増懸念が後退し、前月比1.0ポイント増と3カ月連続して改善

業界別グラフ（2004年1月からの月別推移）



## 悪化した主な業界

- 『建設』（39.2）...公共工事削減の影響により地方圏を中心に景況感の低迷が続くなか、資材高による収益の悪化が顕在化し始め、同0.9ポイント減と2カ月ぶりに悪化、再び40ポイント割れとなる
- 『不動産』（54.3）...土地・建物の仕入れ競争激化に伴う価格上昇で収益低下懸念が増幅し、同1.3ポイント減と2カ月連続悪化
- 『サービス』（49.7）...飲酒運転の罰則強化への影響が「飲食店」などで尾を引いているうえ、個人消費の回復遅れによる内需関連業界の景況感悪化を受け、『小売』（40.6）とともに3カ月連続して悪化

### 業界別景気DI

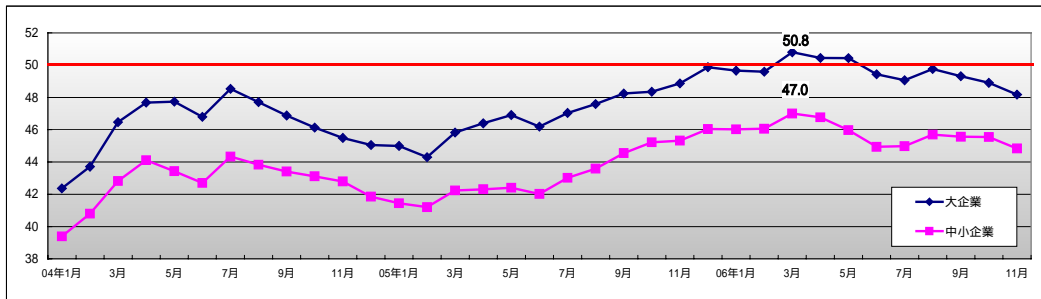
（網掛けなしは前月比改善、イエローの網掛けは前月比横ばい、ブルーの網掛けは前月比悪化を示す）

業界	05年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	06年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	前月比	3ヵ月後	6ヵ月後	1年後	11月の標準偏差
農・林・水産	45.8	46.0	44.4	45.2	43.8	47.0	45.0	47.5	42.0	46.7	44.8	43.5	45.5	45.3	44.4	46.4	43.5	44.4	46.5	42.0	44.2	2.2	46.2	46.8	48.7	12.2
金融	42.6	42.6	43.2	44.5	44.0	44.2	45.6	46.2	46.3	47.9	46.7	46.5	49.2	46.0	45.6	44.8	44.0	44.8	44.8	46.6	42.4	1.2	45.0	47.0	46.3	17.2
建設	35.3	34.8	35.3	35.0	36.3	36.7	37.8	38.7	39.1	38.7	39.3	39.6	39.3	39.4	39.3	38.6	39.6	40.0	39.7	40.1	40.9	0.9	41.6	40.1	40.7	20.1
不動産	50.1	48.9	49.8	49.7	51.0	53.1	53.2	54.4	54.3	51.9	53.5	55.0	56.2	56.4	56.8	55.4	55.5	56.6	56.8	56.6	54.3	1.3	55.4	53.4	52.5	16.9
製造	38.9	40.5	40.7	40.5	40.9	40.5	41.8	42.2	40.8	42.8	41.0	41.7	42.6	43.2	41.6	40.9	40.9	41.1	41.3	41.2	0.1	43.5	45.9	47.0	15.5	
繊維・縫製製品	37.9	37.8	36.6	38.0	39.5	39.3	39.0	39.3	38.2	43.1	42.9	43.9	43.4	43.8	41.3	42.0	42.2	43.0	41.7	42.0	40.3	1.7	44.2	45.1	46.0	18.6
機械・電気機器	36.8	37.3	37.9	37.1	37.4	38.5	41.0	39.9	41.0	40.7	40.0	41.8	40.1	41.4	38.9	40.5	40.8	41.0	41.9	40.7	1.2	44.7	43.5	43.4	21.2	
化学製品	41.7	42.4	41.4	39.5	40.9	42.0	42.3	42.1	43.1	44.1	41.3	40.9	43.9	43.5	42.9	41.5	42.0	42.3	42.7	42.0	0.8	41.9	45.9	47.3	13.8	
金属・鉄鋼	39.7	41.3	39.1	39.9	38.8	40.0	41.0	41.5	40.7	41.5	40.0	41.7	44.6	41.3	40.3	41.3	39.3	40.5	39.9	38.2	1.0	41.8	43.3	44.6	15.4	
食品	45.5	45.8	46.0	45.7	47.2	46.5	46.8	48.8	48.7	50.8	49.2	49.2	50.5	49.2	49.2	48.7	47.8	48.0	48.1	48.8	0.3	50.0	50.3	50.8	17.1	
医薬品	46.8	45.4	46.6	45.1	45.5	47.7	49.9	49.7	50.7	50.8	50.7	50.8	51.3	50.8	49.0	49.8	49.8	51.6	50.8	50.7	0.0	51.8	49.2	48.3	18.7	
印刷	53.1	52.4	52.0	53.6	53.9	55.1	55.5	56.2	56.8	57.7	58.0	58.5	59.2	58.7	57.3	56.6	56.5	56.5	56.3	55.3	54.1	1.2	54.9	53.3	50.6	19.1
電気機械	48.3	49.0	48.9	50.1	52.4	51.2	52.7	53.8	54.0	56.0	55.9	57.0	58.0	57.4	56.7	56.5	55.9	54.6	55.9	54.1	0.7	55.9	53.7	51.4	15.0	
輸送用機械	54.6	52.2	53.6	53.3	55.5	55.8	57.6	56.4	57.6	58.4	58.7	57.8	58.1	57.7	57.1	57.8	58.0	58.0	58.9	58.4	0.3	57.7	56.3	53.3	17.5	
建設機械	47.4	46.8	47.9	46.2	47.6	50.9	51.1	51.1	51.4	50.5	53.1	50.8	54.4	54.5	51.7	48.3	51.4	51.7	49.1	48.9	0.9	48.9	47.4	46.3	20.7	
その他製造	40.2	41.7	39.2	39.2	40.9	39.2	39.0	41.0	41.0	41.7	41.1	42.3	44.1	42.8	41.8	40.6	40.1	41.7	41.2	39.7	1.4	43.0	44.8	46.2	19.0	
その他	44.7	44.8	44.8	44.8	45.7	46.2	47.3	47.8	48.0	49.0	48.4	49.1	50.0	49.8	48.7	48.0	48.0	48.2	48.0	47.9	0.0	49.3	48.9	48.3	17.7	
卸売	40.7	42.0	42.0	41.1	41.6	41.5	42.2	42.3	41.3	41.8	42.0	41.0	42.1	42.8	42.2	41.5	41.2	42.9	42.9	41.1	0.6	43.7	45.6	46.7	15.1	
繊維・縫製製品	34.7	36.0	37.0	36.5	37.3	36.8	37.4	37.6	39.6	43.6	44.3	41.1	41.5	40.7	38.8	37.1	40.0	39.3	39.4	37.5	1.9	41.5	44.2	45.8	15.3	
機械・電気機器	36.1	37.4	37.8	38.9	38.3	37.2	38.0	40.6	40.5	41.2	40.0	39.2	40.1	40.4	40.2	39.3	39.1	40.3	41.0	41.1	0.6	40.1	42.1	42.5	18.4	
化学製品	38.5	40.1	40.1	39.8	39.2	39.8	41.1	41.5	40.8	41.6	43.4	42.7	44.5	45.4	43.2	39.9	42.3	41.5	42.4	41.4	0.4	45.3	45.9	45.9	16.4	
食品	45.4	45.3	46.5	45.8	46.8	46.5	47.0	48.6	48.6	49.9	49.7	49.1	50.6	50.3	50.3	48.1	48.1	49.2	48.9	48.8	0.2	49.9	48.7	49.3	15.9	
医薬品	65.8	64.9	68.8	68.0	67.8	67.8	67.1	62.8	65.2	66.0	62.6	60.0	62.8	62.5	62.2	57.7	59.5	61.1	62.8	70.6	7.8	62.7	58.8	53.9	14.6	
印刷	46.5	46.6	45.8	43.1	45.6	46.0	47.2	47.4	47.6	48.1	47.5	45.9	48.0	46.4	46.1	45.9	46.2	48.2	47.8	49.8	0.2	50.4	46.7	46.0	19.6	
建設	46.4	46.9	47.0	46.5	47.3	48.3	49.3	49.6	50.1	51.4	51.3	52.0	53.2	52.6	51.7	49.9	50.2	50.8	50.6	50.7	0.3	50.6	49.6	49.2	17.3	
その他卸売	41.4	41.7	42.0	42.0	43.2	43.6	44.3	44.6	44.2	45.0	46.1	44.1	46.2	45.1	45.2	43.7	43.3	43.6	43.2	41.7	1.3	44.2	45.9	47.1	16.7	
その他	42.8	43.4	43.6	42.7	43.8	44.1	45.0	45.6	45.7	46.8	46.8	46.1	47.4	47.1	46.6	45.2	45.2	46.2	46.1	46.1	0.1	47.2	46.9	47.2	17.1	
小売	42.3	43.7	44.8	44.6	45.3	45.9	44.9	44.4	44.1	46.2	45.3	45.9	48.0	46.4	45.2	45.0	45.6	46.6	43.8	42.6	0.5	47.0	47.8	49.0	17.1	
繊維・縫製製品	36.6	37.1	37.2	40.4	45.3	44.7	43.4	46.5	46.8	51.6	49.8	49.3	49.2	45.7	41.9	42.2	40.8	39.4	44.8	41.2	0.5	45.5	48.4	45.9	16.0	
食品	32.1	33.8	34.9	32.0	37.6	45.1	43.8	47.3	51.3	49.3	49.3	47.1	46.0	45.1	44.6	44.8	46.0	48.9	46.2	48.4	0.5	46.3	44.4	42.0	15.6	
医薬品	39.7	38.9	34.3	43.8	45.1	38.9	41.7	43.3	42.9	43.6	42.2	44.9	47.8	48.9	40.6	42.7	41.7	38.4	41.7	38.1	0.4	46.9	46.9	42.9	14.4	
印刷	45.1	43.5	45.3	44.0	45.1	43.3	45.0	46.4	49.3	46.9	49.3	48.3	48.1	49.2	48.0	43.8	45.2	43.7	47.0	46.7	0.6	50.7	49.0	50.7	17.1	
建設	44.8	43.4	39.9	43.1	42.2	41.5	42.2	44.0	38.8	43.0	42.2	44.0	48.4	42.8	42.0	37.8	40.8	38.8	37.7	38.1	0.4	40.0	45.2	47.4	18.5	
その他小売	34.3	35.8	36.3	35.9	38.3	38.2	36.9	36.0	37.9	38.3	38.3	38.5	41.2	39.4	38.0	36.6	33.7	35.2	36.5	35.7	0.2	40.9	42.0	43.5	18.4	
建設DI	40.6	40.9	44.7	42.7	44.4	44.7	45.6	44.0	45.9	50.2	49.1	49.4	48.0	47.1	47.3	44.4	44.4	47.4	48.3	45.2	0.4	46.5	47.8	48.1	13.1	
その他DI	36.1	33.3	33.3	22.9	29.2	35.4	33.3	34.7	26.2	33.3	40.9	37.0	35.7	27.8	36.1	33.3	25.0	42.6	29.2	39.6	4.7	2.1	38.9	41.7	38.9	12.7
その他	39.6	40.0	40.5	40.6	42.7	42.0	41.8	41.7	43.4	44.7	44.7	44.7	43.9	45.8	43.9	42.7	40.4	41.7	41.6	40.9	0.6	40.4	45.6	46.4	16.8	
運輸・倉庫	45.2	45.3	45.5	43.0	44.0	44.4	45.7	45.9	46.0	48.0	47.0	49.0	49.5	47.8	46.2	45.7	45.5	45.7	46.4	47.4	1.0	49.2	49.1	49.4	17.3	
飲食店	40.1	40.4	43.0	38.4	41.9	42.5	47.1	47.1	47.8	50.0	54.0	52.1	50.0	50.0	50.0	49.0	49.3	52.5	50.0	49.0	0.3	46.0	47.7	46.6	15.4	
観光	58.3	50.0	53.1	55.2	56.0	55.6	50.0	57.3	52.4	52.0	50.0	50.0	55.9	55.9	54.8	56.6	52.4	53.3	52.4	55.6	5.0	50.0	46.9	46.8	18.6	
電気機械	50.0	50.0	53.8	48.3	50.0	52.2	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	55.1	51.5	50.0	51.4	50.										

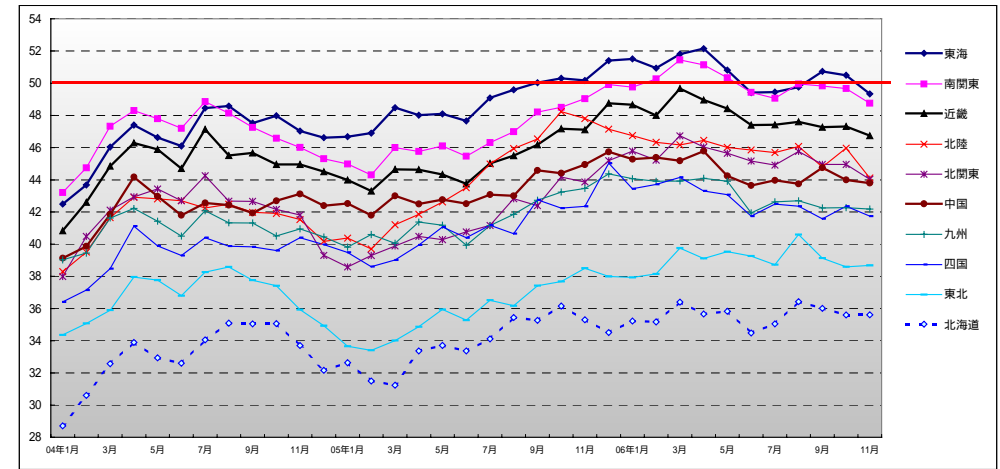
**規模別:大企業、中小企業ともに前月比悪化、規模間格差は依然として高水準**

- ・ 大企業 (48.2)、中小企業 (44.8) とともに 3 カ月連続して前月比悪化
- ・ 悪化幅は大企業、中小企業ともに同水準だった結果、規模間格差は 3.4 ポイントと変わらず、高水準続く

規模別グラフ(2004年1月からの前月別推移)



地域別グラフ(2004年1月からの前月別推移)



規模別景気DI (網掛けなしは前月比改善、イエローの網掛けは前月比横ばい、ブルーの網掛けは前月比悪化を示す)

	05年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	06年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	前月比	3ヵ月後	6ヵ月後	1年後
大企業	45.8	46.4	46.9	46.2	47.0	47.6	48.2	48.4	48.9	49.9	49.7	49.6	50.8	50.4	50.4	49.4	49.1	49.8	49.3	48.9	48.2	0.7	49.9	49.4	49.1
中小企業	42.2	42.3	42.4	42.0	43.0	43.6	44.5	45.2	45.3	46.0	46.0	46.1	47.0	46.8	46.0	44.9	45.0	45.7	45.6	45.5	44.8	0.7	47.0	46.6	46.7

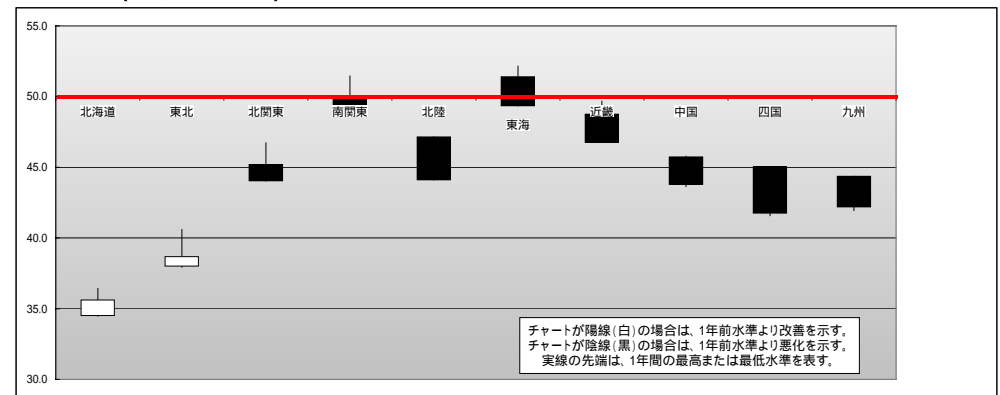
**地域別:10地域中8地域で前月比悪化、  
『東海』は3カ月ぶりに判断の分かれ目となる50ポイントを割る**

- ・ 『東海』(49.3)は、業績の伸び悩みが鮮明となった大企業の景況感悪化により、同1.2ポイント減と2カ月連続して悪化、3カ月ぶりに判断の分かれ目となる50ポイントを割った。『南関東』(48.8)も同0.9ポイント減と3カ月連続で悪化

過去1年間の地域別景気DI推移をみると、10地域中8地域で1年前水準より悪化している一方で、『北海道』と『東北』の2地域はそれぞれ1.1ポイント、0.7ポイントとわずかながら改善している。

しかし、最高水準の『東海』と最低の『北海道』との景況感格差は依然として13.7ポイント(前月14.9ポイント)にまで開いており、高水準の状況に変化はみられない。

地域別グラフ(過去1年間の推移)



地域別景気DI (網掛けなしは前月比改善、イエローの網掛けは前月比横ばい、ブルーの網掛けは前月比悪化を示す)

	05年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	06年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	前月比	3ヵ月後	6ヵ月後	1年後
北海道	31.2	33.4	33.7	33.4	34.1	35.4	35.3	36.2	35.3	34.5	35.2	35.2	36.4	35.7	35.8	34.5	35.0	36.4	36.0	35.6	35.6	0.0	37.2	40.0	41.8
東北	34.0	34.9	35.9	35.3	36.5	36.2	37.4	37.7	38.5	38.0	37.9	38.1	39.8	39.1	39.5	39.3	38.7	40.6	39.1	38.6	38.7	0.1	41.1	41.6	43.1
北関東	39.9	40.5	40.3	40.8	41.2	42.8	42.4	44.2	43.9	45.2	45.8	45.2	46.7	46.0	45.7	45.2	44.9	45.8	45.0	45.0	44.0	1.0	46.9	46.3	46.7
南関東	46.0	45.8	46.1	45.5	46.3	47.0	48.2	48.5	49.0	49.9	49.8	50.3	51.4	51.1	50.3	49.4	49.1	50.0	49.8	49.7	48.8	0.9	50.7	50.1	49.7
北陸	41.2	41.9	42.6	43.5	45.0	45.9	46.5	48.2	47.8	47.1	46.7	46.3	46.2	46.5	46.0	45.9	45.7	46.1	44.8	46.0	44.1	1.9	43.9	43.5	43.3
東海	48.5	48.0	48.1	47.7	49.1	49.6	50.0	50.3	50.2	51.4	51.5	50.9	51.8	52.2	50.8	49.4	49.5	49.8	50.7	50.5	49.3	1.2	51.0	49.1	48.2
近畿	44.6	44.6	44.3	43.8	45.0	45.5	46.2	47.2	47.1	48.8	48.7	48.0	49.7	49.0	48.4	47.4	47.4	47.6	47.3	47.3	46.7	0.6	48.7	48.4	48.1
中国	43.0	42.5	42.8	42.5	43.1	43.0	44.6	44.4	44.9	45.7	45.3	45.4	45.2	45.8	44.2	43.6	44.0	43.8	44.8	44.0	43.8	0.2	46.2	45.0	45.4
四国	39.0	39.9	41.1	40.4	41.2	40.6	42.8	42.2	42.4	45.0	43.4	43.7	44.2	43.3	43.1	41.7	42.5	42.4	41.6	42.4	41.7	0.7	43.8	44.2	45.4
九州	40.1	41.4	41.2	39.9	41.2	41.9	42.7	43.2	43.5	44.4	44.1	43.9	43.9	44.1	43.9	41.9	42.6	42.7	42.2	42.3	42.2	0.1	45.7	45.7	45.9

## 業界別の景況感「現在」(2006年11月調査分)

業界名	景気DI			判断理由 ( = 良いと判断した理由、× = 悪いと判断した理由)
	10月	11月	12月	
農・林・水産	42.0	44.2	-	プレカットの受注が好調である(製材) 鶏卵相場が高値安定している(養鶏) 一般建築用丸太の動きは低価格ながら堅調。高級造作用丸太は販売低調(森林組合) × 飼料価格は値上がりしているが、食鳥相場に反映できない(養鶏)
金融	43.6	42.4	-	× 最近、取引先の売り上げが停滞気味、特に住宅関連、小売。夕張問題、財政難を含め公共部門の引き締めが予想され不安(生保/北海道) × 会員権を購入しなくても安くプレー出来る(ゴルフ会員権) × 貸金業関連法制の変化により、リスクに見合う金利の設定ができない。また、顧客層である中小企業の経営環境も相変わらず厳しいものがあり、収支バランスが崩壊している(事業者金融)
建設	40.1	39.2	-	製造業の設備投資が活発に行われている(熱絶縁工事) × 暖冬予想のうえ現時点の外気温が高いため、空調業界全体に修理などが減少している(空調工事) × 官庁の発注減、自治体合併による指名業者の増加で競争激化(電気通信工事) × 談合問題や公共工事削減の影響が大きく、また元請けの低価格落札の影響は下請け企業が多い専門工事にしわ寄せがくる(土木工事) × 冬期間の工事休止期間に入ったため、民間工事が無くなる(造園工事/北海道)
不動産	55.6	54.3	-	地価が底を打ち、土地絡みの取引が活発になってきている。人気エリアでの用地確保が困難な状況(不動産売買/兵庫) オフィスおよびマンション入居率、賃料の上昇、物件取引価格の高騰(貸事務所) × 供給過多、原価の高騰(マンション販売) × 新聞紙上やニュースで言われるような好景気感はまったくなく、金利の上昇や仕入れ価格の上昇などにより利益率が落ちてきている(不動産仲介)
製造	47.9	47.3	-	建設関係の断熱材は好調に推移しており、IT工場向けの不燃パネルの受注もあり、工場はフル生産(化学品製造) 圧延は、価格維持できているので好調。熱錬も、自動車や建機好調を受け、稼働満杯(伸鉄) 自動車部品関連メーカーの大手がキャパシティオーバーの生産状態が続いており好調(鋳物部品製造) × 飲酒運轉撲滅運動の影響で需要が減っている(酒類製造) × 平年より気温は相当高く、冬物食品が動かない(缶詰製造) × 原価高が転嫁できないなか、11月からフィルムの再値上げ。時期的に多少出荷量が増えても利益が確保できない(プラスチックフィルム製造)

業界名	景気DI			判断理由 ( = 良いと判断した理由、× = 悪いと判断した理由)
	10月	11月	12月	
卸売	46.1	45.1	-	自動車、家電、OAメーカー向け業務が好調(プラスチック製品卸) 商品先高の傾向なので、顧客の購入意欲が強くなり、全般的に動きが良くなってきた(木材・建材卸) 鉄相場がかなり高くなっているため好調(鉄スクラップ卸) × 消費者の酒類購入は大手小売中心で、一般小売店の業績低迷、飲酒運轉禁止キャンペーンによる飲食店市場の低迷で中小卸は厳しい(酒類卸) × 流通の変化に伴う市場経由率の低下。消費者の魚離れ等の理由による景気の低迷(生鮮魚介類卸)
小売	40.9	40.6	-	前年同期に比べ売り上げと客単価がやや上昇(スポーツ用品小売) × 暖冬で重衣料の需要が出てきていない。クリスマスの盛り上がりも感じられない(婦人・子供服小売) × 寒くならないので、冬用商材の売れ行きが良くない(ドラッグストア) × 市況価格の下落によるマージン悪化(ガソリンスタンド) × 登録車が16カ月連続で前年割れと厳しい(自動車小売) × 飲酒運轉規制強化で酒類販売量が減少している(酒類小売)
運輸・倉庫	46.4	47.4	-	自動車産業関連が好調なため需要が増加している(一般貨物輸送) 造船業好調。素材としての鉄鋼関係の輸送が堅調(港湾運送) 物量の増加による空き倉庫の減少(倉庫) 安定した取扱量が確保できているが、一方では、下落したとはいえ燃料価格の高水準がコスト高となっている。総合的に見ればやや良い(倉庫) × 景気のバロメーターとなる会社の慰安旅行や業界団体の団体旅行がほとんどなく、その状態がここ7年以上続いている(旅行代理店)
サービス	50.3	49.7	-	自動車業界の景況に伴う民間投資の増加(建機リース) 仕事の引き合いの増加と、人材難を感じる(情報処理サービス) × 東京や限られた大都市はいいが、地方では淘汰されず、いまだ供給過剰の状況にある(ホテル) × 遊技台検定規制で遊技台の魅力が減少したことで客数も減少。結果、粗利益も減少と厳しい(パチンコホール) × お客様の来店ごとの支出額が以前より減少し、かつ滞在時間も短くなっている(マージャン店)

「判断理由」については自由回答のため、業界によっては理由がない場合もあります。



## 業界別の景況感「先行き」(2006年11月調査分)

業界名	先行き見通しDI			判断理由 ( = 良いと判断した理由、× = 悪いと判断した理由)
	10月	11月	12月	
農・林・水産				<ul style="list-style-type: none"> <li>× 飼料の先行き値上げ観測が強く、見通しが非常に不透明(養鶏)</li> <li>× 住宅ローン金利の上昇により、住宅着工件数に影響が出ており、今後の金利上昇局面では、その懸念がますます増加すると思われる(森林組合)</li> </ul>
	3カ月後	46.4	46.2	-
	6カ月後	49.3	46.8	-
	1年後	49.3	48.7	-
金融				<ul style="list-style-type: none"> <li>金利動向に左右されるため何ともいえない(普通銀行)</li> <li>× 貸金業法の改正により大きく規制を受けるため先行き悪化は免れない(クレジットカード)</li> <li>× 好転する材料が見当たらない(事業者向け貸金)</li> </ul>
	3カ月後	45.7	45.0	-
	6カ月後	46.5	47.0	-
	1年後	47.2	46.3	-
建設				<ul style="list-style-type: none"> <li>ファンド、既存建物の建て替え、大規模修繕などの建設投資が活発であり、当面は堅調推移を見込む(建築工事)</li> <li>民間設備投資が受注単価を引き上げることを期待したい(土木工事)</li> <li>× 絶対量が減少するなか、今後の金利上昇や競争入札などによる減益、倒産が予想され予断をゆるさない(土木工事)</li> <li>× 良くなる要素がない。加えて各県の談合問題の表面化等も影響し、ますます悪くなる(土木工事)</li> </ul>
	3カ月後	42.9	41.6	-
	6カ月後	41.7	40.1	-
	1年後	41.9	40.7	-
不動産				<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き緩やかな景気回復で雇用者数の増加に伴うオフィス需要の拡大に期待。地方でも地価底入れから取引増が見込める(建物売買)</li> <li>× 仕入れ価格上昇により商品価格も上がってきているが、消費者がそれに対応できていない。商品と消費者の希望にずれがあり、溝が埋まりそうにない(不動産仲介)</li> <li>× 価格が高すぎて事業用地取得ができないために、短期的には好景気だが、先行きは不透明(建物売買)</li> </ul>
	3カ月後	57.1	55.4	-
	6カ月後	57.1	53.4	-
	1年後	53.9	52.5	-
製造				<ul style="list-style-type: none"> <li>船舶元請の受注残から、2008年まではブームが続く(ポンプ製造)</li> <li>原油高、鋼材の値上げなどマイナス要因はあるが、今後も継続すると思う(自動車部品製造)</li> <li>× 中国で熟練工の工賃が上昇、十分な熟練工が確保困難(手袋製造)</li> <li>× 消費が伸びていない。大手スーパーをはじめとして、小売店の低価格路線は相変わらず続いているため、メーカー、卸ともに原材料・経費の値上がり分を価格に転嫁できず利益を圧迫している(食品製造)</li> <li>× 大手スポーツ小売店が自社ブランド品の取り扱い比率を上げており、しかも工場に直接発注のため、安く良いもので太刀打ちできない(手袋製造)</li> </ul>
	3カ月後	50.2	49.3	-
	6カ月後	49.8	48.9	-
	1年後	49.1	48.3	-

業界名	先行き見通しDI			判断理由 ( = 良いと判断した理由、× = 悪いと判断した理由)
	10月	11月	12月	
卸売				<ul style="list-style-type: none"> <li>2008年の北京オリンピックへ向けた製品出荷台数が伸びるために、設備投資が旺盛に推移すると思われる(半導体卸)</li> <li>設備投資が本格化していくと思われる(鉄鋼卸)</li> <li>原油高の沈静化傾向。世界規模の物流増加は継続の見通し。しかし、薄利となっていく傾向は否めない(機械卸)</li> <li>× 地域格差に伴い、ハウスメーカーや大手フランチャイズビルダーに受注競争で勝てず、地場工務店の受注力が減退(建材卸)</li> </ul>
	3カ月後	48.5	47.2	-
	6カ月後	48.4	46.9	-
	1年後	48.1	47.2	-
小売				<ul style="list-style-type: none"> <li>ビスタ、オフィス2007など大型商品の発売に期待(情報家電小売)</li> <li>× 大手企業の業績が過去最高益を更新する一方で、個人所得の減少、負担増などアンバランスな局面が多い(スーパーマーケット)</li> <li>× 少なくとも1年は過当競争が続くと見ている。ある程度淘汰が進めば、小康状態になると思われる(ガソリンスタンド)</li> <li>× 販売規制が緩和され、他業種からの出店が続くために既存店舗は淘汰される(医薬品小売)</li> </ul>
	3カ月後	45.2	44.5	-
	6カ月後	46.4	45.6	-
	1年後	47.0	46.4	-
運輸・倉庫				<ul style="list-style-type: none"> <li>景気回復による荷動きの増加が続く(船舶運送)</li> <li>× 暖冬の影響で輸送の動きが鈍い(沿海貨物海運)</li> <li>× 油脂やタイヤの価格高騰やタクシー乗務員不足という業界の課題に加え、需要も可処分所得の低下で経営環境は悪い(タクシー)</li> <li>× 社内旅行等は縮小傾向で全般的に団体旅行は低調。旅行会社の販売形態も変遷している(旅行代理店)</li> </ul>
	3カ月後	48.4	49.2	-
	6カ月後	48.9	49.1	-
	1年後	48.6	49.4	-
サービス				<ul style="list-style-type: none"> <li>各企業における生産の海外移転により、契約案件の減少が気になる(受託開発ソフトウェア)</li> <li>× 2000年問題以降、修正されたシステムのリプレース作業が一段落し始めたことで、クライアント側のシステムに対する需要が全体的に下がることが予想される(受託開発ソフトウェア)</li> <li>× 不動産業界による値上がりを見越した売り惜しみがこのまま継続すると良くならない(広告代理店)</li> <li>× 適合パチンコ機・スロット機の使用期限が2007年6月で切れるため、代替機の費用確保と、それ以降の売り上げ低下が危惧される(パチンコホール)</li> </ul>
	3カ月後	52.2	51.1	-
	6カ月後	52.2	50.7	-
	1年後	51.2	50.5	-

「判断理由」については自由回答のため、業界によっては理由がない場合もあります。

## 調査先企業の属性

### 1. 調査対象(2万152社、有効回答企業1万3社、回答率49.6%)

#### (1) 地域

北海道	526	東海(岐阜 静岡 愛知 三重)	983
東北(青森 岩手 宮城 秋田 山形 福島)	626	近畿(滋賀 京都 大阪 兵庫 奈良 和歌山)	1,571
北関東(茨城 栃木 群馬 山梨 長野)	581	中国(鳥取 島根 岡山 広島 山口)	647
南関東(埼玉 千葉 東京 神奈川)	3,497	四国(徳島 香川 愛媛 高知)	309
北陸(新潟 富山 石川 福井)	495	九州(福岡 佐賀 長崎 熊本 大分 宮崎 鹿児島 沖縄)	768
		合計	10,003

#### (2) 業界(10業界51業種)

農・林・水産	26	小売	飲食料品小売業	67	
金融	123		繊維・繊維製品・服飾品小売業	41	
建設	1,301		医薬品・日用雑貨品小売業	27	
不動産	230		家具類小売業	16	
製造	飲食料品・飼料製造業	359	家電・情報機器小売業	51	
	繊維・繊維製品・服飾品製造業	113	自動車・同部品小売業	45	
	建材・家具・窯業・土石製品製造業	261	専門商品小売業	135	
	パルプ・紙・紙加工品製造業	105	各種商品小売業	62	
	出版・印刷	208	その他の小売業	6	
	化学品製造業	399	運輸・倉庫	337	
	鉄鋼・非鉄・鉱業	442	飲食店	29	
	機械製造業	420	郵便業、電気通信業	16	
	電気機械製造業	351	電気・ガス・水道・熱供給業	12	
	輸送用機械・器具製造業	82	リース・貸貸業	153	
(2,909)	精密機械・医療機械・器具製造業	76	旅館・ホテル	40	
	その他製造業	93	娯楽サービス	55	
	卸売	飲食料品卸売業	385	放送業	17
	繊維・繊維製品・服飾品卸売業	214	メンテナンス・警備・検査業	111	
	建材・家具・窯業・土石製品卸売業	425	広告関連業	140	
	紙類・文具・書籍卸売業	111	情報サービス業	338	
	化学品卸売業	317	人材派遣・紹介業	34	
	再生資源卸売業	17	専門サービス業	181	
	鉄鋼・非鉄・鉱業製品卸売業	367	医療・福祉・保健衛生業	60	
	機械・器具卸売業	1,047	教育サービス業	17	
(3,285)	その他の卸売業	402	その他サービス業	116	
	その他			23	
		合計	10,003		

#### (3) 規模

大企業	2,379	23.8%
中小企業	7,624	76.2%
合計	10,003	100.0%
うち上場企業	(406)	(4.1%)

### 2. 調査事項

- ・景況感(現在・3カ月後・6カ月後・1年後)
- ・経営状況(売り上げ、生産・出荷量、仕入れ・販売単価、在庫、設備稼働率、従業員数、時間外労働時間、設備投資、雇用過不足感)および金融機関の融資姿勢について
- ・2007年の景気見通しに対する企業の意識調査

### 3. 調査時期・方式

2006年11月21日～30日(インターネットリサーチ方式)

## DI(景気動向指数)について

### 調査目的・調査項目

TDB景気動向調査は、「国内景気の実態把握」を主目的として、各業界の現況・先行きに関する判断や各企業の業績・環境など、企業活動全般に関する調査項目について全国2万社以上を対象に月次で実施する統計調査(ビジネス・サーベイ)で、2002年5月から実施している。

### 調査先企業の選定

調査先企業は全国全業種、全規模を対象とし、調査協力の承諾が得られた企業を調査先としている。

### DI算出方法

DI(ディフュージョン・インデックス Diffusion Index)は、調査先企業による7段階の判断に、それぞれ下表カッコ内の点数を与え、これらを各回答区分の構成比(%)に乗じて算出している。

非常に悪い	悪い	やや悪い	どちらともいえない	やや良い	良い	非常に良い
(0)	(1/6)	(2/6)	(3/6)	(4/6)	(5/6)	(6/6)
0	16.7	33.3	DI=50 判断の 分かれ目	66.7	83.3	100

50を境にそれより上であれば「良い」超過、下であれば「悪い」超過を意味し、50が判断の分かれ目となる。なお、小数点第2位を四捨五入している。また、DIの算出においては、企業規模の大小に基づくウェイト付けは行っておらず、「1社1票」の単純平均の形をとっている。

### 企業規模区分

大・中小企業の分類については、中小企業基本法に基づいて業種別に以下のとおり設定している。

業界名	大企業	中小企業
製造業、 その他の業種*	資本金:3億円を超える かつ 従業員数:300人を超える	資本金:3億円以下 または 従業員:300人以下
卸売業	資本金:1億円を超える かつ 従業員数:100人を超える	資本金:1億円以下 または 従業員数:100人以下
小売業	資本金:5千万円を超える かつ 従業員:50人を超える	資本金:5千万円以下 または 従業員:50人以下
サービス業**	資本金:5千万円を超える かつ 従業員:100人を超える	資本金:5千万円以下 または 従業員:100人以下

\* **その他の業種**には、鉱業、建設業、電気・ガス・熱供給・水道業、運輸・通信業、金融・保険業、不動産業が含まれます。

\*\* **サービス業**には、クリーニング業、物品賃貸業など、日本標準産業分類の大分類「サービス業」に分類される業種が該当します。

©TEIKOKU DATABANK,LTD.2006

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。報道目的以外の利用につきましては、著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および無断引用を固く禁じます。